

江戸川区で考えられる主な自然災害

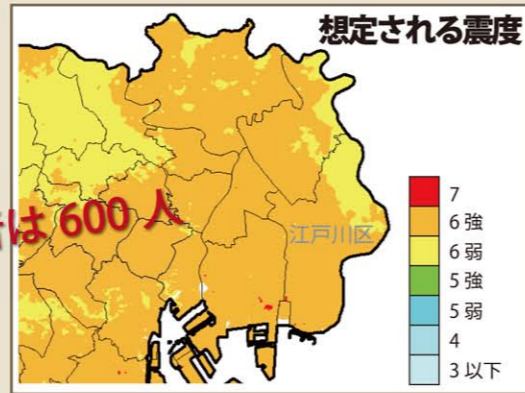
さらに重なると最悪の災害に…

地震 発生が迫っていると言われている 首都直下地震の被害想定

東京都の新たな被害想定結果 (H24.4) によると、東京湾北部地震 (M7.3) が発生した場合、江戸川区で甚大な被害が発生すると想定されています。

最大震度7 江戸川区での死者は600人

地震から身を守るには、建物の耐震化や家具類の固定などの事前の備えが何よりも大切です。

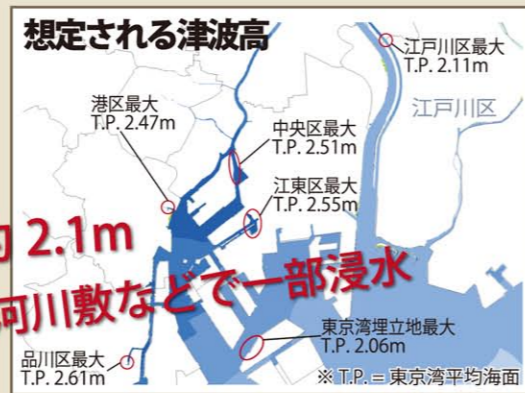


津波 3.11 東日本大震災以後、 不安が高まっている津波の被害想定

東京都の新たな被害想定結果 (H24.4) によると、元禄型関東地震 (M8.2) による津波が発生した場合、江戸川区にも津波が到達しますが、東日本大震災時に東北を襲ったような大きな津波にはならないと想定されています。

江戸川区では約 2.1m 河川敷などで一部浸水

これは、東京湾という非常に浅い場所に津波が伝わってくると、津波の高さを維持できずに崩れてしまうという地理的な条件が大きく影響しています。



気象が大きく変化している状況や
ゼロメートル地帯に囲まれた地理的な条件を考えると…
江戸川区で津波以上に心配される災害は？

洪水や高潮 気候変動の影響による台風の巨大化など、 発生の可能性が高まっている洪水や高潮の被害想定

江戸川区では、洪水や高潮対策として、国や東京都と連携して、堤防や防潮堤を強化するとともに、浸水が発生した場合の避難対策を推進してきました。

いざというときは、**洪水ハザードマップ**に基づき、避難してください。

想定される洪水時の浸水深

区内だけでなく、上流で川があふれたとしても江戸川区の広範囲が浸水



想定される高潮被害

葛西臨海部を中心に防潮堤が強化されてきたため、被害は抑えられると考えられます。



現在の堤防は、想定される高潮潮位以上に整備されている

複合災害 が起こったら…

首都直下地震が発生！

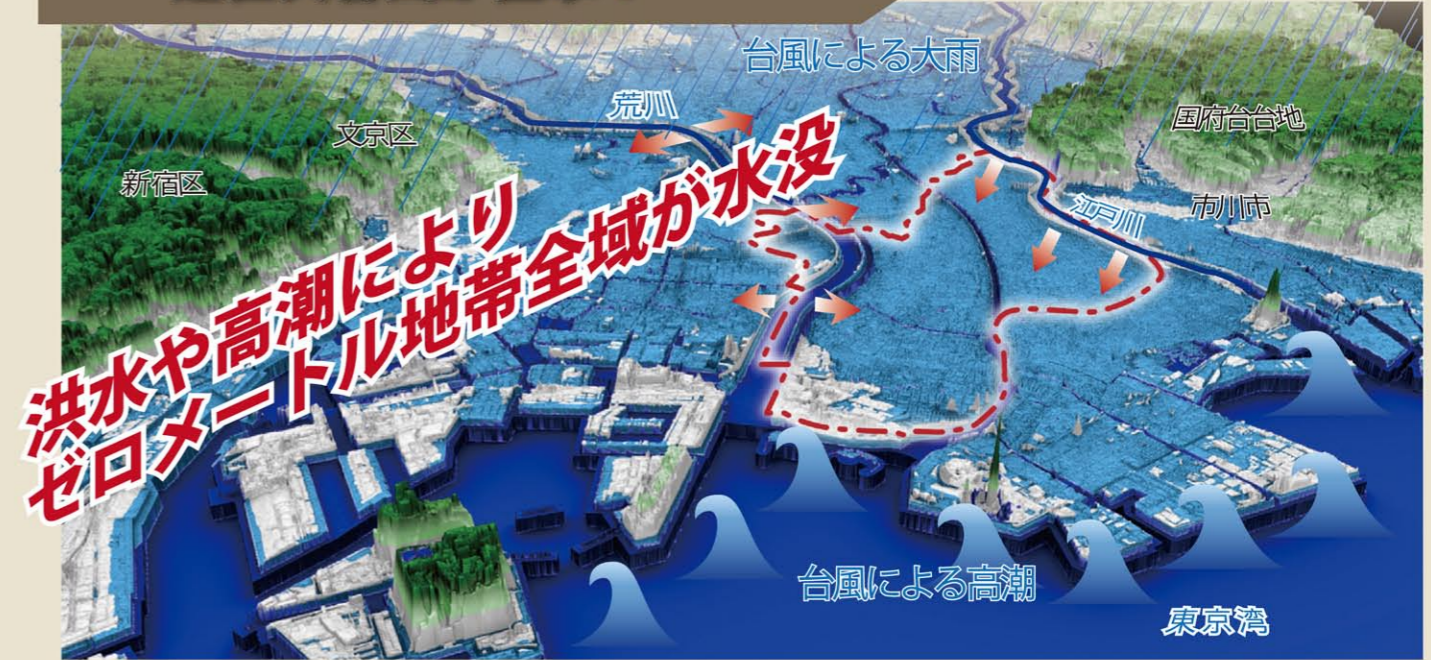
堤防や水門は耐震化が進められており、地震によっていきなり決壊することは考えにくいですが、少なからず被害を受ける可能性があります。



2011.3.11 東日本大震災 (左の写真：群馬大学広域首都圏防災研究センター、中・右の写真：東日本大震災写真保存プロジェクト)

応急復旧もままならない状況で…

超巨大台風が直撃！



**洪水や高潮により
ゼロメートル地帯全域が水没**

江戸川区内もほぼ全域が 2m 以上、深いところでは 5m 程度浸水します。また、その浸水は 2 週間以上続く可能性があります。

これまで経験したことのない超巨大台風

地球温暖化の影響により、これまでの国内最強・最大級の台風をも上回る“超巨大台風”の発生が危惧されています。

大雨だけでなく、**猛烈な風の強さ**が最大の特徴です。台風上陸のかなり前から、避難すらできなくなります。



2003年台風14号の強風被害 (写真：宮古島地方気象台)

これまで被害を防ぐための防災対策を推進してきました。
しかし、相手は自然で想定以上のことも起こりえます。